

情報生物学研究室

情報生物学研究室は、遠藤教授、長田准教授をはじめ、秘書の平山さん、DC3名（内1名は社会人学生）、MC13名、BC3名、の計22名で活動しています。AIの医療応用に関心をもつ学生が増え、関連する研究テーマが好まれる傾向にあります。また、生物集団の進化的変遷を探る集団構造解析を行っており、大量のゲノムデータを扱ったゲノム多様性解析研究が進められています。最近は生成AIの技術をも生物医学に転用する例が出始めており、研究分野もますます面白くなってきました。ドラッグリポジショニング、シングルセル発現解析など、進化的遺伝子重複、光合成関連遺伝子の進化など、さまざまな種類のテーマに取り組んでいます。手探り要素の多い分野ですが、遺伝情報、遺伝子外情報に関する質の高いデータとデータベースの整備が進んでおり、活躍の場も広がりそうです。

